

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	城南児童発達支援センター（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年1月20日		～ 2026年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年1月20日		～ 2026年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	認定こども園を併設しているため、インクルージョン保育に取り組みやすい環境である。	認定こども園を併設しているため、インクルージョン保育に取り組みやすい環境である。	児童発達支援センター専従の職員だけでなく、認定こども園と兼務の職員についても、児童発達支援に携わることができるよう、専門的な研修の受講を計画的に進め、サービスの質の向上と充実を図る。また、イベント等を通じて、自然と保護者間の交流が生まれるよう、その機会を確保していく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	インクルージョン保育にあたって、多数の職員が関わるため、支援方針や具体的な支援方法の統一が必要である。	サービス提供時間が長時間であるために、職員の勤務時間帯が同一ではないことから、日々のミーティングに出動している全職員が参加できない。その結果、日々変化する対象児童の心身の状態の変化に応じた支援方針や具体的な支援方法の細かいすり合わせが不十分である。	・ミーティングに際しては、効果的に共通理解を図ることができるよう、的を絞って実施する。 ・月1回の全体の職員会議において、その時点での支援方針と具体的な支援の方法を周知する。 ・記録のICT化により、対象児童の状態や支援内容の時系列での変化を見える化する。
2	保育室以外に細かく区切られたスペースが少なく、バリアフリー設計でない箇所が多い。	事業所の建物が、築年数20年超の旧保育所である。	・建物の内部改装を予定しているため、それに併せて、バリアフリー化が必要な箇所を改修する。 ・パニックになった時など、利用児童が自らの意思で一人になりたいと思った時の避難場所となり得るスペースで、安全が確保され、且つ、職員が見守りできる場所を作りたいと考え、その方法を模索中である。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		城南児童発達支援センター（児童発達支援）						公表日	2026年2月28日		
		利用児童数				2		回収数		2	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	0	0	0					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	0	0	0					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	0	0	0					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	0	0	0					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	0	0	0					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	0	0	0					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	0					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	0	0	0					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	0	0		園行事やイベントを通して、地域の他の子ども達と交流できるような機会となるように努めます。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	1		家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会を計画し、保護者の皆様への支援が反映できるように努めます。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	0					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	0	0		園行事やイベントを通して、きょうだい同士の交流がもてるよう、今後とも努力して参ります。			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 城南児童発達支援センター（児童発達支援）

公表日 2026年2月28日

利用児童数

2

回収数

2

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	19	2	0	0	0		
	20	2	0	0	0		
	21	2	0	0	0		
	22	2	0	0	0		
非常時等の対応	23	2	0	0	0		
	24	2	0	0	0		
	25	2	0	0	0		
	26	2	0	0	0		
満足度	27	1	0	0	1		本児の気持ちの寄り添い、通所できるために必要な活動内容を整理し、安心して通所できるよう努めて参ります。
	28	1	1	0	0		本児の気持ちの寄り添い、通所できるために必要な活動内容を整理し、楽しく通所できるよう努めて参ります。
	29	2	0	0	0		

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		城南児童発達支援センター（児童発達支援）		公表日 2026年2月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	1対1で対応できている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	床暖があるので、ハイハイ移動や裸足にやさしい環境である。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	活動に合わせて移動するなど、工夫して対応している。補助具などを使用し、児童が快適に過ごせる環境となっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	トイレトレーニングでは、個々の児童の使いやすさに応じたトイレを使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	児童に関わる職員はもちろん、全職員が見たり聞いたりすることができる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	必要に応じて、園内ミーティングで議題として取り上げることができている。日々の生活や活動の様子を、職員間で共有している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		外部評価は受けていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	園内研修及び外部研修により、支援の質の向上に努めている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	ホームページに掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	毎月、保護者と児童から要望を確認し、支援計画を立てている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	日々のミーティングと、月に一度の職員会議で共通理解を図っている。	定期的に行われる機会がない。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	いつでも確認・共有できるようになっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	基本的な項目に沿った、統一されたアセスメント様式を使用している。	主に日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントから児への対応をしているが、必要に応じて標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントを行うようにしていく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	項目に沿った児童発達支援計画と併せて、職員間で具体的な支援内容・方法がわかるよう、時系列のマニュアルを作成して、共有している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	職員間の話し合いにより、共通認識をもって統一した支援を実施している。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	城南児童発達支援センター（児童発達支援）	公表日 2026年2月28日
------	----------------------	----------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
供	18	4	0	ご利用日が少ないため、スモールステップで行うように心がけている。	
	19	4	0	集団を意識して行動できることは集団活動に参加し、難しい場合は個別活動に切り替えるなど、子どもの様子に合わせ、柔軟に対応している。	
	20	3	1		チームではなく、当日の担当者が必要な確認を行っている。
	21	2	2	個人記録に記入している。	
	22	4	0	同上	
	23	4	0		
	24	4	0	保護者を含む、関係機関（行政、医療、保健福祉、教育）の担当者が集まり、定期定期に会議を開催している。	
関係機関や保護者との連携	25	4	0	同上	
	26	4	0	認定こども園と併設している特性を活かし、閉校利用を実施するとともに、積極的にインクルージョン保育に取り組んでいる。	
	27	4	0	見学に機会を設け、進学時には情報提供している。	
	28	4	0	モニタリングの際に訪問したりして、連携を図っている。地域全体の質の向上に資する取組として、広域的な児童の受入に努めている。	
	29	4	0	計画的に内部研修及び外部研修の受講を進めている。	
	30	3	1	法人代表として事業本部長が参加している。	
	31				
	32	4	0	認定こども園と併設しているため、積極的に交流している。	
	33	4	0	送迎時や連絡帳を通して、保護者と共通理解を図っている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		城南児童発達支援センター（児童発達支援）					公表日	2026年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		今後の課題である。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に説明している。			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	保護者を含むサービス担当者会議や、日々の送迎時に、児童及びご家族の意向を確認している。			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	内容に変更がある場合、前計画の評価と今計画の変更点について、説明している。			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	要望に応じ、相談、面談等を行っている。			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	イベントを通じて、保護者同士やきょうだい同士で交流できる機会を設けている。	父母の会、保護者会は設けていない。		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	相談窓口を明確にしており、その内容については、契約時に説明している。相談については、電話や面談にて、随時対応している。			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	「マチコミ」を活用して発信している。			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	契約時に説明している。			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	伝わる方法を模索しながら、コミュニケーション能力の向上に努めている。			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	保護者等に限らず、併設の認定こども園の卒園児や中高生など、近隣住民も参加できるようにしている。			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	契約時、重要事項説明書に沿って説明している。また、訓練は年間の計画をたてて、実施している。			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	同上			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	契約時に確認している。			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	学校生活管理指導表や医師の指示書に基づき、除去食依頼書の提出をお願いし、徹底している。			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画の周知と、必要な研修と訓練を計画的に実施している。			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	契約時に重要事項説明書に沿って説明している。			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	所定の書式で作成し、ミーティングにおいて共有している。			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		城南児童発達支援センター（児童発達支援）				公表日	2026年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	法人単位で虐待防止に関する指針を定め、定期的に事業所内外研修を実施している。		
53		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	身体拘束の実績なし。		